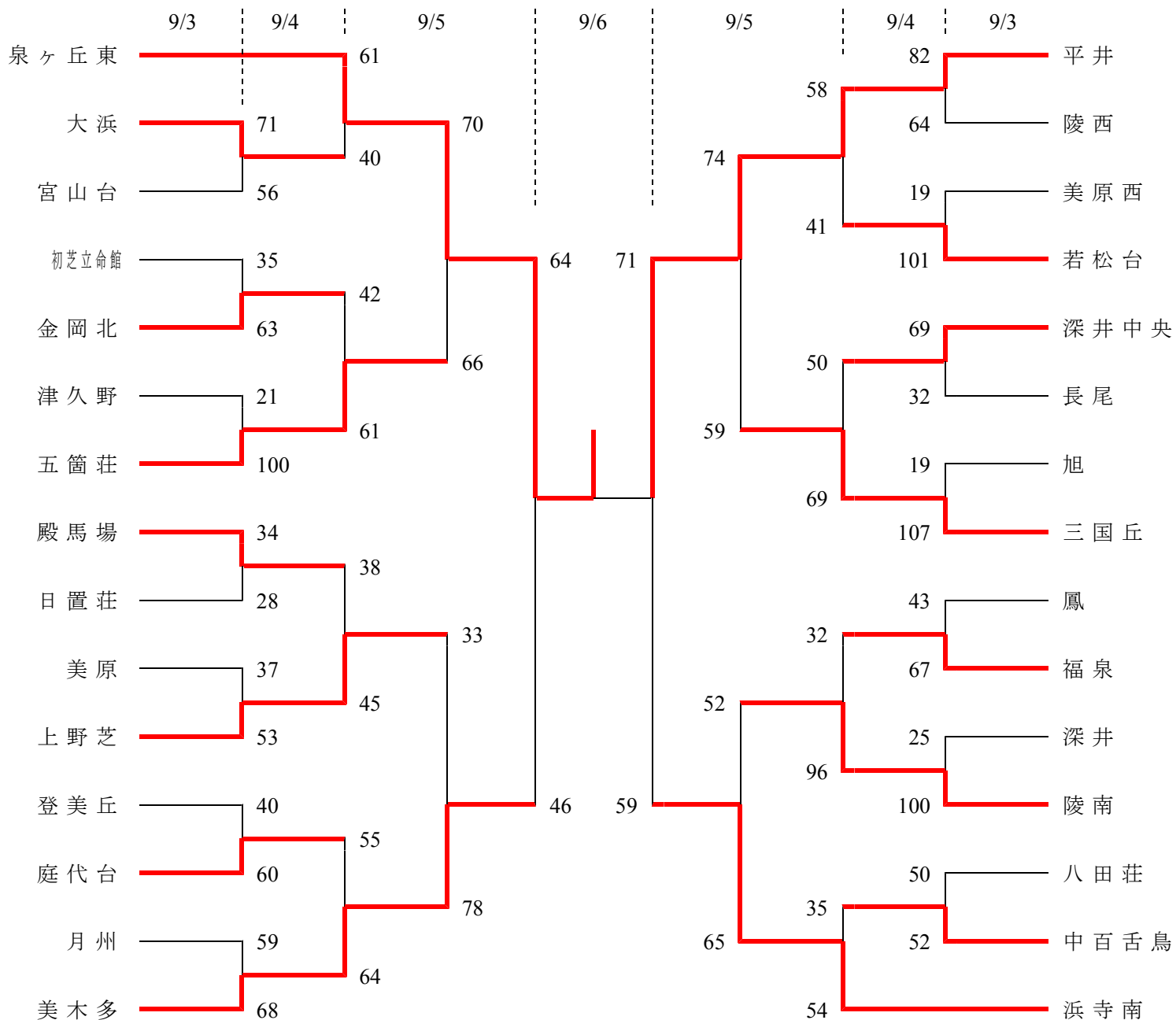


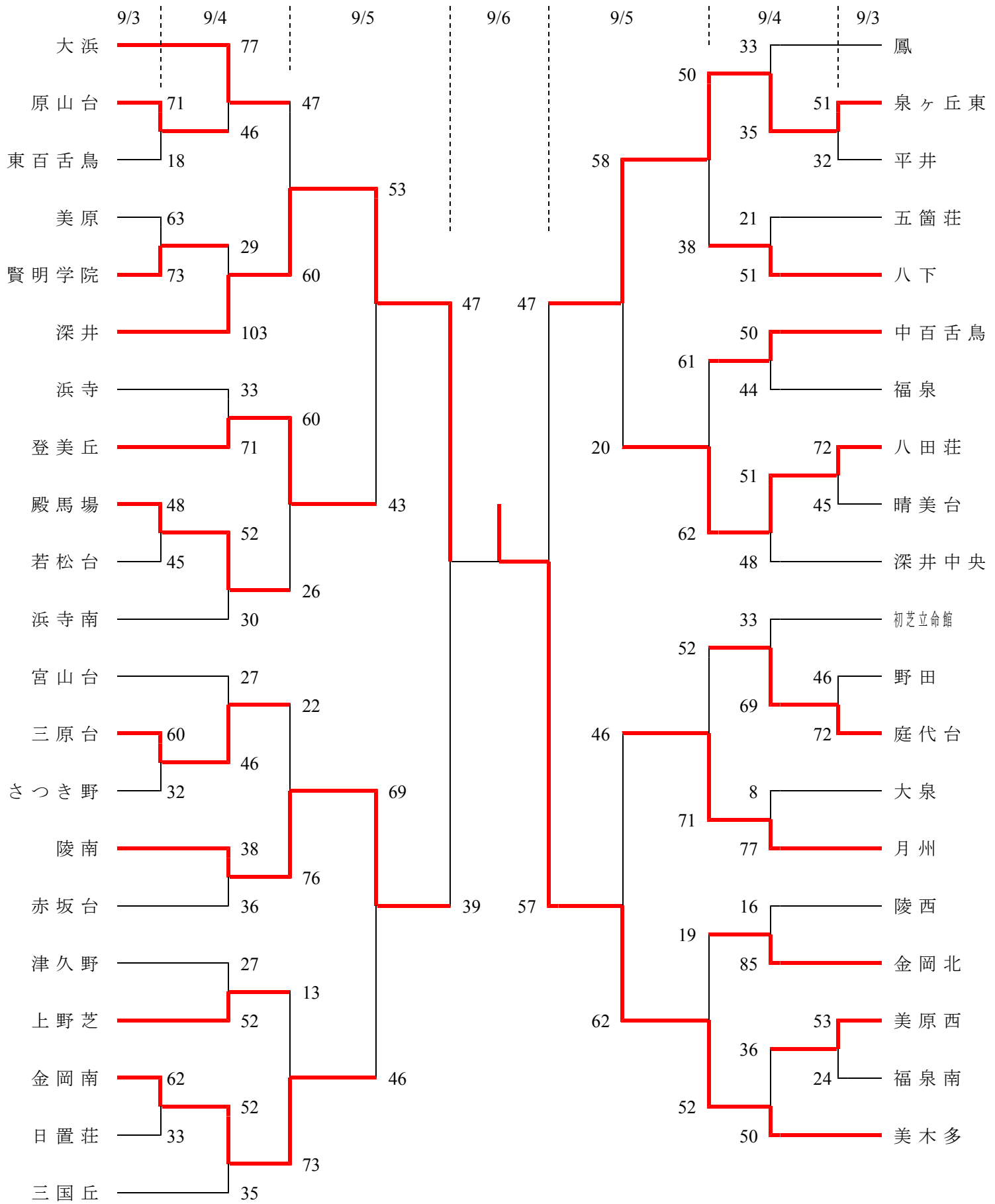
2010年度堺総体

男子の部



決勝
 泉ヶ丘東 76-58 平井
 19 1Q 14
 12 2Q 14
 22 3Q 23
 23 4Q 7

女子の部



決勝
 深井 47 - 56 美木多
 10 1Q 15
 14 2Q 10
 10 3Q 13
 13 4Q 18

男子決勝戦評

泉ヶ丘東④⑤⑥⑦⑧、平井④⑤⑦⑩⑬、両チームともにハーフマンツーマンでスタート。立ち上がり泉ヶ丘東は⑦、⑤の連続得点から流れをつかみ9-2とリードする。対する平井は⑤、⑬の1 on 1で対抗し、得点を取り合う展開に持ち込む。19-14と泉ヶ丘東がリードして第1Qを終える。

第2Qに入ると、両チームともにオフェンスの起点となる⑤をフェイスガードし、ディフェンスを強化する。3分間ノーゴールが続くが、そこから互いに3Pを1本ずつ入れ、一進一退の攻防となる。その中で平井⑬のシュートで平井が詰め寄り、31-28で第2Qが終了する。

後半から平井はディフェンスを2-3ゾーンに変える。対して泉ヶ丘東は④、⑤、⑦がバランスよく得点し、互いに流れを譲らない。平井は⑤がフェイスガードで苦しむ中、④が奮闘し、一時1点差まで泉ヶ丘東を追いつめる。

しかし、第4Qに入り疲れが見えた平井のディフェンスががんばりきれず、徐々に泉ヶ丘東が点差を広げ始める。平井はたまたらタイムアウトで流れを変えようと試みるも、その後も泉ヶ丘東がつかんだ流れを放さず、76-58で勝利を得た。

泉ヶ丘東の④、⑤、⑦の内外にバランスのよい攻めと粘り強いディフェンスが光ったゲームであった。

(福嶋・木村)

女子決勝戦評

深井④⑥⑦⑧⑨、美木多④⑫⑬⑭⑮、両者オールコートマンツーマンでスタート。美木多は深井④に対して厳しいプレッシャーをかけ、深井のリズムを崩しにかかる。深井もタイムアウトをとって修正にかかる。そこからは互いに確実に得点を重ね15-10で美木多がリードする。

第2Qに入ると深井④が持ち味を発揮し、深井のオフェンスが機能し始める。一方、美木多は⑭の3Pで得点を重ねる。しかし、ここで美木多⑫がファウルトラブルとなり、またターンオーバーも重なり、深井が勢いに乗る。美木多はたまたらタイムアウトで流れを断ち切ろうとするも、深井が速攻から得点し、25-24と1点差まで追い上げる。

後半に入っても一進一退の展開は変わらず、互いに流れを譲らない。そんな中、美木多④、⑫がともに4つ目のファウルをしてしまい、苦しい状況となる。しかし、美木多⑮がペリメーターのシュートを確実に決め、深井に傾くかと思われた流れを引き戻す。38-34で第3Qを終える。

第4Qに入ると美木多が⑫のオフェンスリバウンドからの得点や、⑭のこの日4本目の3Pなどで点差をつけ始める。深井もタイムアウトで流れを変えようとするも、最後は美木多が落ち着いた試合運びを見せ、56-47で優勝を決めた。

両チームともに最後まで優勝への気迫が感じられた好ゲームであった。そんな中、粘り強いディフェンスをがんばり続けた美木多に、心から讃辞を送りたい。

(土居、安慶名、市原、亀井)